

自動会費納入

会員各位

会員管理事務の効率化と経費削減のため、自動振替による会費納入にご協力くださいますようお願い申し上げます。当面の間は引き落とし手数料（税別 155 円）を学会の負担とさせていただきます。また、自動振替をご利用の会員全員に領収書を発行させていただきます（送付は 12 月末の引き落とし後）。

事務手続き上、外国会員につきましては従来通りクレジットカードによる支払い、また学生会員につきましては郵便振替による振込みのみとさせていただきますので、ご了承ください。振替依頼文書をご希望の方は、下記事務局までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

庶務幹事（会員担当）

【お申込み・お問い合わせ先】

〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
福山大学 生命工学部 海洋生物科学科
山岸 幸正 宛

Tel 084-936-2111 内線 4530
E-mail yamagishi@fukuyama-u.ac.jp

訃報

本学会員 川嶋昭二氏は 2020 年 2 月 18 日に、Roy T. Tsuda 氏は 2020 年 12 月 7 日に逝去されました。
謹んで哀悼の意を表します。 日本藻類学会

皆様のご投稿をお待ちしています

和文誌「藻類」は会員の皆様の原稿で成り立っている雑誌です。原著論文のみならず、総説やミニレビュー、学術資料、その他の記事のご投稿もお待ちしています。ご投稿に際しましては、第 68 巻第 3 号 p.189-192 に掲載された 2021 年より適用の新しい投稿規定、執筆要項、投稿票、別刷・カラー印刷等申込書をご覧ください。新しい投稿区分、カラー印刷料金や別刷料金と、投稿者が査読候補者を指名し、希望する論文通信担当編集委員に投稿できるなどの審査体制が示されております。投稿規定、執筆要領、投稿票については日本藻類学会の Web サイトからもダウンロードできます。（編）

編集後記

2021 年の 69 巻 1 号～3 号は、印刷をお願いしているイセブさんからの提案により、試行的に版組のほとんどをイセブさんにお任せすることになりました。学会役員挨拶など、プロの組み方に、餅は餅屋なんだと感心させられました。また、慣れない版組からも解放され、精神的にも肉体的にも負担がだいぶ軽減され、休日の家庭菜園も行える状況になりました。学会誌を英文誌と和文誌に分けた時に、予算的な都合で和文誌の版組まで編集長が行う様になったのか、経緯は私にまで伝わっておりませんが、前号と前々号の版組を通して感じた

のは、これは研究者が行う仕事なのかという疑問でした。編集委員会委員長の任期が 3 年間と割り切って版組も頑張っていこうかと思ひ、これまで長年使用してきた本文のヒラギノ明朝などのフォントを刷新して、Mac でも Windows でも共通して使えるフォントへ変更し、印刷所でエラーが出ない様に対応したりしていた矢先に、今年の版組自体を行わなくて良いことになり、嬉しい様な、ちょっと残念な様な感じでした。本号のフォント変更気づかれたでしょうか？

（芹澤如比古）

表紙 日本藻類学会第 45 回大会（オンライン東京）ロゴ —新たな関わり方を求めて—

制作者：阿部 信一郎

作者より：私たちは様々な生物との関わり合いの中に埋め込まれて生活しています。水の中でも、多様な生物と彼らの様々な関わり合いがみられます。私たちは、それらの生物とどのように関わっていけばよいのでしょうか。科学技術が発達した人新世に、もう一度、問い直してみたいと思っています。第 45 回大会のロゴマークは、大会長の研究業績を称えると共に、そのような思いを込めました。また、ウニがネットワークを ...。